

はじめに

2年に1回実施しております「市政世論調査」は、昭和48年の1回目の調査を開始して以来、今回で25回目となりました。

この調査は、市のさまざまな施策について、市民の皆さまからご意見やご提案をいただくとともに、その結果を行財政運営に反映させ、魅力と活力のあるまちづくりを進めるため実施しております。

去年は、元号が「平成」から「令和」へと引き継がれ、新時代の幕開けの年となりましたが、本年は新型コロナウイルス感染症が世界規模で発生し、市民の皆さまの生活に多大な影響を及ぼすこととなりました。

「with コロナの時代」の中、皆さまにおかれましては新型コロナウイルス感染症の感染防止と社会経済活動の両立に向け、ご協力いただき心より感謝申し上げます。市といたしましては「いなざわ事業者げんき補助金」の創設をはじめとした独自の緊急経済対策などに取り組んでおり、引き続き支援を行ってまいります。

また、9月には市役所本庁舎東側に新しく東庁舎が完成しました。1階に福祉課を設置し、令和3年度からは稲沢市社会福祉協議会を新たに集約することで、福祉のワンストップサービスを実施するほか、2階には危機管理課と災害対策室を設置し、頻発し激甚化する自然災害に迅速に対応してまいります。

厳しい時代の中ではありますが、今後の社会状況の変化に対応し、市民の皆さまとともに新たな魅力ある稲沢市を目指してまいります。

今後も稲沢市の発展のため、市政に一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。最後に、この調査にご協力いただいた多くの市民の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

令和2年11月

稲 沢 市